



2023年8月8日

各 位

会 社 名 J ト ラ ス ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 澤 信 義
(コ ー ド 8 5 0 8 ス タ ン ダ ー ド 市 場)
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 小 田 克 幸
電 話 番 号 0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期連結業績予想を、下記のとおり上方修正いたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	営業収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	115,000	8,500	9,000	13,000	97.01
今回修正予想(B)	118,000	10,500	12,500	16,500	120.17
増減額(B-A)	3,000	2,000	3,500	3,500	
増減率(%)	2.6	23.5	38.9	26.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	82,419	14,399	16,995	12,632	110.75

2. 修正理由

期初時点の予想に比べ、以下のとおり、各セグメントにおいて、業績が順調に推移しており、また、今後も拡大していくことが見込まれております。

東南アジア金融事業におきましては、特に、PT Bank JTrust Indonesia Tbk.の貸出金残高が21兆ルピア（約2,000億円）を超えるとともに、貸出金利も市場実勢に合わせて引き上げていることから、利息収益が当初の予想を上回って増加しております。

韓国及びモンゴル金融事業におきましては、貯蓄銀行事業において、預金金利の上昇による収益悪化を予想しておりましたが、韓国銀行による基準金利の引上げが一段落し、懸念したほどの損失とはなっておらず、底打ちが期待できる状況となっております。

日本金融事業におきましても、Nexus Card株式会社の割賦売掛金残高が拡大している他、債権回収が当初の予想以上に進捗しております。

また、第1四半期連結会計期間に、株式会社ミライノベートの吸収合併に伴い、負ののれん発生益を計上したことに加えて、Nexus Bank株式会社の合併が4月1日に完了したことにより、第2四半期連結会計期間においては、繰延税金負債の取崩しが親会社の所有者に帰属する当期利益に加算されます。

以上のことなどから、営業収益を30億円（2.6%）増加の1,180億円、営業利益を20億円（23.5%）増加の105億円、税引前利益を35億円（38.9%）増加の125億円、親会社の所有者に帰属する当期利益を35億円（26.9%）増加の165億円と見込んでおります。

（注1）本通期連結業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって変更となる可能性があります。

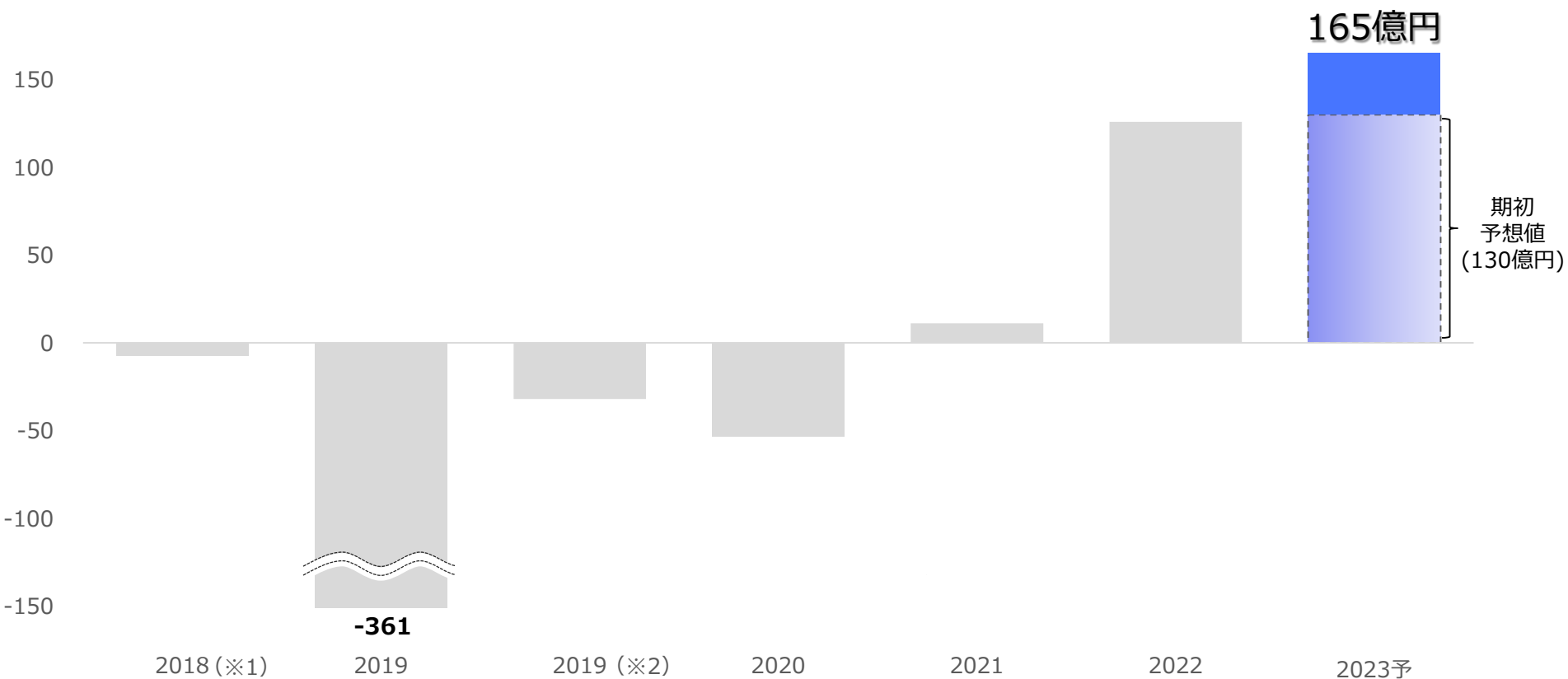
（注2）Jトラストグローバル証券株式会社が行っている金融商品取引業の業績は、経済情勢及び市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であり、当社グループは当該金融商品取引業を除いた業績予想の開示を行うこととしております。

以 上

2018年以降の親会社の所有者に帰属する当期利益の推移

- 2023年12月期の親会社の所有者に帰属する当期利益予想を130億円から165億円に上方修正
- 2018年3月期にIFRSに移行してからは2023年12月期も2年連続最高益の予想

単位：億円



(※1) 2018年3月期以降はIFRS
(※2) 決算期を3月から12月に変更